



- 1 はじめに
- 2 健康経営とは？  
健康経営のはじめかた
- 3 健康経営優良法人とは
- 4 沖縄県内で健康経営優良法人認定を受けている法人一覧
- 5 おきなわ健康経営プラス1プロジェクト  
プロジェクトの背景  
プロジェクトの目的
- 6 プロジェクトの活動・取組イメージ
- 7 14社における「プラス1」の取組
- 8 **健康経営** に取り組む企業の声
- 9 **Voice 01** 沖縄ツーリスト株式会社
- 10 **Voice 02** 有限会社 三崎工業
- 11 **Voice 03** 株式会社 琉球銀行
- 12 **Voice 04** ANA 沖縄空港株式会社
- 13 **取組事例紹介**
- 14 **CASE 01** 株式会社沖縄海邦銀行
- 15 **CASE 02** 株式会社沖縄銀行
- 16 **CASE 03** 沖縄セルラー電話株式会社
- 17 **CASE 04** 沖縄ツーリスト株式会社
- 18 **CASE 05** 沖縄電力株式会社
- 19 **CASE 06** オリオンビール株式会社
- 20 **CASE 07** 大同火災海上保険株式会社
- 21 **CASE 08** 東京海上日動火災保険株式会社 沖縄支店
- 22 **CASE 09** 日本トランスオーシャン航空株式会社 (JTA)
- 23 **CASE 10** 有限会社 三崎工業
- 24 **CASE 11** 明治安田生命保険相互会社 沖縄支社
- 25 **CASE 12** 株式会社 琉球銀行
- 26 **CASE 13** 株式会社琉球ネットワークサービス
- 27 **CASE 14** ANA 沖縄空港株式会社
- 28 県内支援機関情報
- 29 健康経営関連の情報はこちらから

## はじめに

近年、企業が従業員の健康管理を経営課題と捉え、健康保持・増進に向けた活動に取り組む「健康経営®」の考え方が広まっております。

沖縄県においては、平均寿命は延伸しているものの、全国と比べ伸びが鈍化しており、特に働き盛り世代（20～65歳未満）の健康問題が大きな要因となっています。

そこで、沖縄総合事務局では、健康経営に取り組む沖縄県内企業等が連携し、他社へも質の高い健康経営を拡げ、沖縄県全体へ波及効果を高めることを目指し、「おきなわ健康経営プラス1プロジェクト」を令和3年に発足しました。

本プロジェクトでは、健康経営に取り組む企業の課題解決に向けて官民が連携するとともに、自社内の取組だけに留まらず、沖縄県民向けの健康増進に資する活動や、他社向けの健康経営のすそ野拡大のための活動を「プラス1」として実施しています。

健康経営を実践するためには、従業員の健康課題を把握し多様な健康課題に対して具体的な取組を行う事が求められます。本冊子では、プロジェクトに参画している県内企業が実際に社内で取り組んでいる健康経営に関する取組や、県民の健康増進のために提供しているサービス等を紹介します。

これからの企業経営においては、健康を経営的視点から考え、人という資源を資本化して企業が成長することで、社会の発展に寄与することが、ますます重要になっていくものと考えられます。

是非、この機会に健康経営はもちろんのこと、沖縄県民の健康づくりについて考え、実践の第一歩を踏み出してみませんか。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

※沖縄県における現状については、「健康おきなわ21（第2次）中間評価報告書」を参照。

## ▶健康経営とは？

- 単に従業員の健康管理を行うのみではなく、従業員のパフォーマンスを最大限に発揮できるようにするために健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践することです。
- 企業が経営理念に基づき、従業員健康保持・増進のために投資することは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や組織としての価値向上へ繋がることが期待されます。



## ▶健康経営のはじめかた

1

「健康宣言」を行おう

健康経営を経営理念の中に明文化し、企業として取組む姿勢を社内外に発信しましょう。  
▶中小規模事業者の方は、協会けんぽ等の医療保険者が実施する「健康宣言」事業に参加しましょう。

2

実施できる環境を整えよう

経営層全体で取組みの必要性を共有したり、担当者・担当部署を設置するなど、取組みやすい体制をつくりましょう。

3

具体的な対策をしよう

自社の健康課題を見つけ出し、目標を設定した上で施策を実行しましょう。

4

取組を評価しよう

施策の効果を経営層を含めて確認し、現状の取組の評価を次の取組に活かしていきましょう。

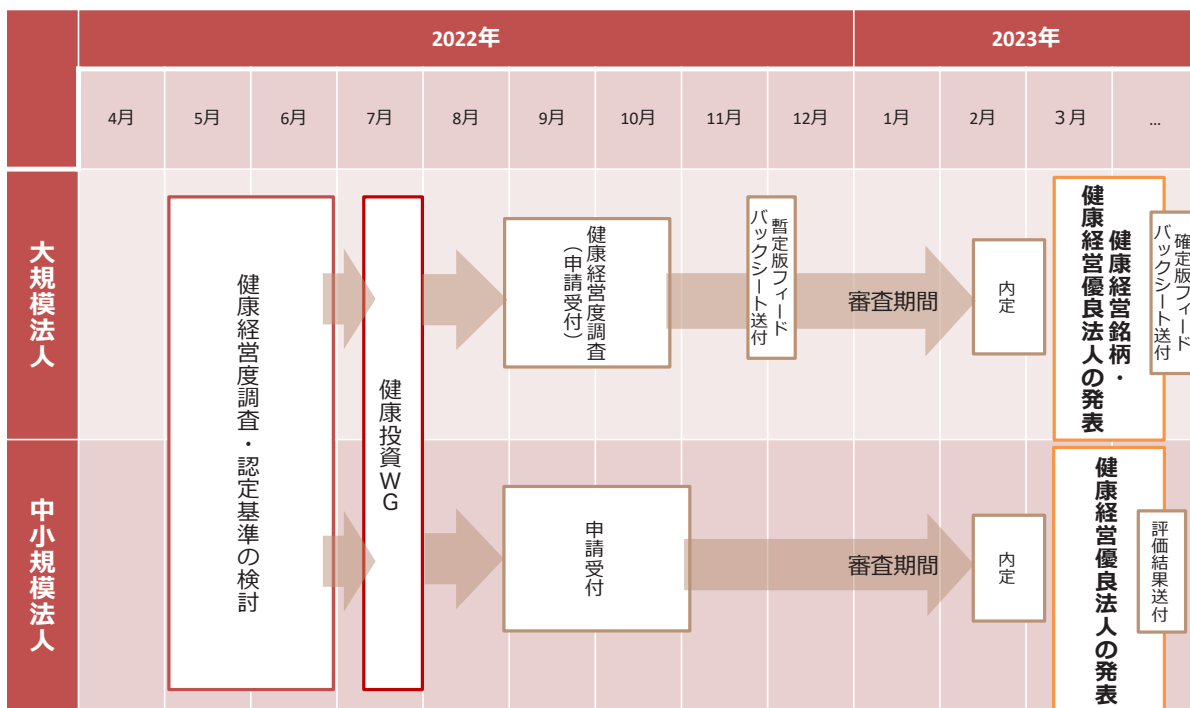
## ▶健康経営優良法人とは

地域・企業の健康課題に即した取組を基に優良な健康経営を実施している企業等を「健康経営優良法人」として顕彰する「健康経営優良法人認定制度」があります。本制度は経済産業省が制度設計を行い、日本健康会議（※）が認定しております。

この認定を受けることで、以下のロゴマークを企業の健康経営PR等に利用できます。

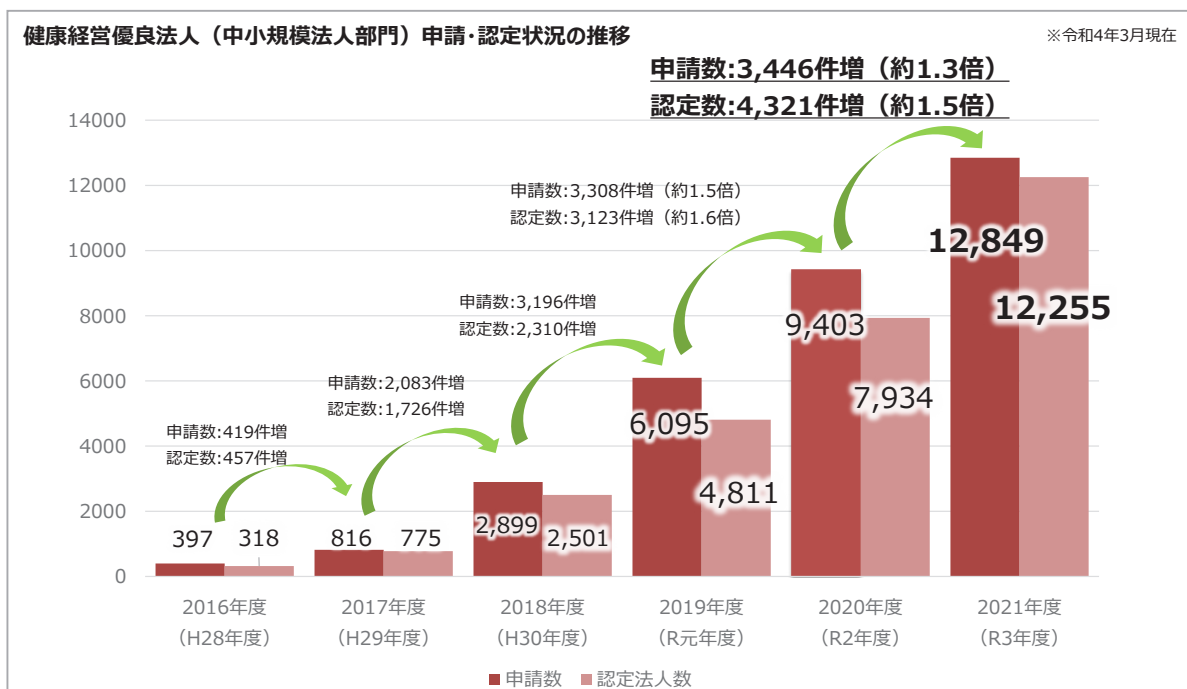
（※）日本健康会議とは、国民一人ひとりの健康寿命延伸と適切な医療について、経済団体、医療団体、保険者などの民間組織や自治体が連携し、行政の支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体です。

### 健康経営優良法人認定を受けるには？（参考）2023年認定フロー



※出典：ACTION! 健康経営HP

健康経営優良法人2022（中小規模法人部門）の申請数は、前回から3,446件増加の12,849件。認定数は、前回から4,321件増加の12,255件となっております。



※出典：経済産業省HP

# ▶ 沖縄県内で健康経営優良法人認定を受けている法人一覧

## 大規模法人部門 ホワイト500

4社



認定法人名	業種
沖縄セルラー電話株式会社	情報・通信業
日本トランスオーシャン航空株式会社	空運業
沖縄電力株式会社	電気・ガス業
クオリサイトテクノロジーズ株式会社	情報・通信業

## 大規模法人部門 (※ホワイト500を除く)

9社



認定法人名	業種
ANA 沖縄空港株式会社	空運業
株式会社沖縄海邦銀行	銀行業
株式会社沖縄銀行	銀行業
株式会社沖縄ダイケン	サービス業
株式会社沖縄日立	卸売業
沖縄日立ネットワークシステムズ株式会社	情報・通信業
大同火災海上保険株式会社	保険業
株式会社琉球銀行	銀行業
株式会社琉薬	卸売業

## 中小規模法人部門 ブライト500

5社



認定法人名	業種
沖縄ツーリスト株式会社	生活関連サービス業
有限会社三崎工業	建設業
興南施設管理株式会社	専門・技術サービス業
株式会社りゅうせき建設	建設業
トランスファシステムサポート株式会社	運輸業

## 中小規模法人部門 (※ブライト500を除く)

70社



認定法人名	業種
株式会社 IMI CORPORATION	建設業
株式会社東設計工房	専門・技術サービス業
株式会社オカノ	卸売業
沖縄行政システム株式会社	情報通信業
沖縄県労働金庫	金融業
株式会社沖縄債権回収サービス	サービス業 (他に分類されないもの)
株式会社沖縄 Saizen	生活関連サービス業
共和産業株式会社	建設業
株式会社システック沖縄	情報通信業
株式会社 JALJTA セールス	生活関連サービス業
株式会社新世紀システムズ	情報通信業
有限会社スタプランニング	建設業
株式会社 ZUMI	卸売業
株式会社 CELL	専門・技術サービス業
有限会社浅海技術	専門・技術サービス業
株式会社ソニックオートモービル	サービス業 (他に分類されないもの)
株式会社ダスキン沖縄	サービス業 (他に分類されないもの)
株式会社東邦	建設業

認定法人名	業種
株式会社徳久グッドビズ	生活関連サービス業
株式会社 NINEWORX	情報通信業
那覇エアポートエンジニアリング株式会社	その他
那覇空港ビルディング株式会社	不動産業
那覇商工会議所	社団法人、財団法人、 商工会議所・商工会
株式会社野原建設	建設業
株式会社パラミックス琉球	情報通信業
光電気工事株式会社	建設業
株式会社保険サービス	保険業
琉球通運株式会社	運輸業
株式会社琉球ネットワークサービス	情報通信業
株式会社琉球リース	金融業
株式会社 okicom	情報通信業
沖縄情報システム株式会社	情報通信業
株式会社沖縄中央エンジニアリング	専門・技術サービス業
株式会社自野湾電設	建設業
サントリーフーズ沖縄株式会社	卸売業
株式会社トミレディオ	建設業
有限会社アミューズコーポレーション	卸売業
株式会社 ODN ソリューション	情報通信業
株式会社沖縄県農協電算センター	情報通信業
株式会社 C S D コンサルタンツ	専門・技術サービス業
株式会社田幸技建コンサルタント	専門・技術サービス業
株式会社デンソーサービス沖縄	卸売業
株式会社 Line	建設業
株式会社リウデン	建設業
株式会社ワダチラボ	教育
琉球製罐株式会社	製造業
株式会社沖縄機械整備	サービス業 (他に分類されないもの)
株式会社東洋企画印刷	製造業
株式会社沖縄計測	サービス業 (他に分類されないもの)
沖縄商工会議所	社団法人、財団法人、 商工会議所・商工会
株式会社新拓沖縄	建設業
株式会社精巧エンジニアリング	専門・技術サービス業
株式会社設備技研	建設業
株式会社テクノ工業	その他
株式会社仲本工業	建設業
株式会社西自動車商会	小売業
オリオンビール株式会社	製造業
株式会社大生通信	建設業
株式会社東洋ハウジング	不動産業
有限会社ビニハン商会	建設業
有限会社ユタカ産業	卸売業
フェイス沖縄株式会社	製造業
有限会社ユタカ電子産業	小売業
株式会社東和	サービス業 (他に分類されないもの)
株式会社ひろし不動産	不動産業
宮古ガス株式会社	小売業
宮古島商工会議所	社団法人、財団法人、 商工会議所・商工会
株式会社サキコーポレーション	不動産業
株式会社プログレッシブエナジー	電気・ガス・熱供給・水道業
金秀アルミ工業株式会社	製造業

※おきなわ健康経営プラス1プロジェクトへ参画している「明治安田生命保険相互会社 沖縄支店」及び「東京海上日動火災保険株式会社 沖縄支店」については、本社においてそれぞれ「健康経営優良法人 2023 ホワイト 500」を取得しております。

# おきなわ健康経営

## プラス1プロジェクト

### ▶▶プロジェクトの背景

#### 企業における前提

健康経営が「自社の従業員」向けの取組みとなっている

#### 沖縄県における現状

沖縄県では平均寿命は延伸しているものの、全国と比べ延びが鈍化しており、特に働き盛り世代（20～65歳未満）の健康問題が大きな要因となっている

#### 課題①

外部への発信が少なく、  
企業間の情報共有が少ない

#### 課題②

単一企業の取組になりがちで、  
他企業・県民への波及効果が薄い

課題に対する打ち手として、  
健康経営に取り組む企業等が連携し、他企業等へも健康経営を拡げながら、  
沖縄県全体へ波及効果を高める取組が必要。

### ▶▶プロジェクトの目的

## おきなわ健康経営プラス1プロジェクト

～健康長寿県復活を目指し、官民連携で健康保持・増進～

01

参画企業等が自社の従業員向けの健康保持・増進活動にとどまらず  
沖縄県民に対し健康保持・増進に資する活動を1つ以上実施することで  
県民の健康保持・増進および沖縄の健康長寿復活を担う

02

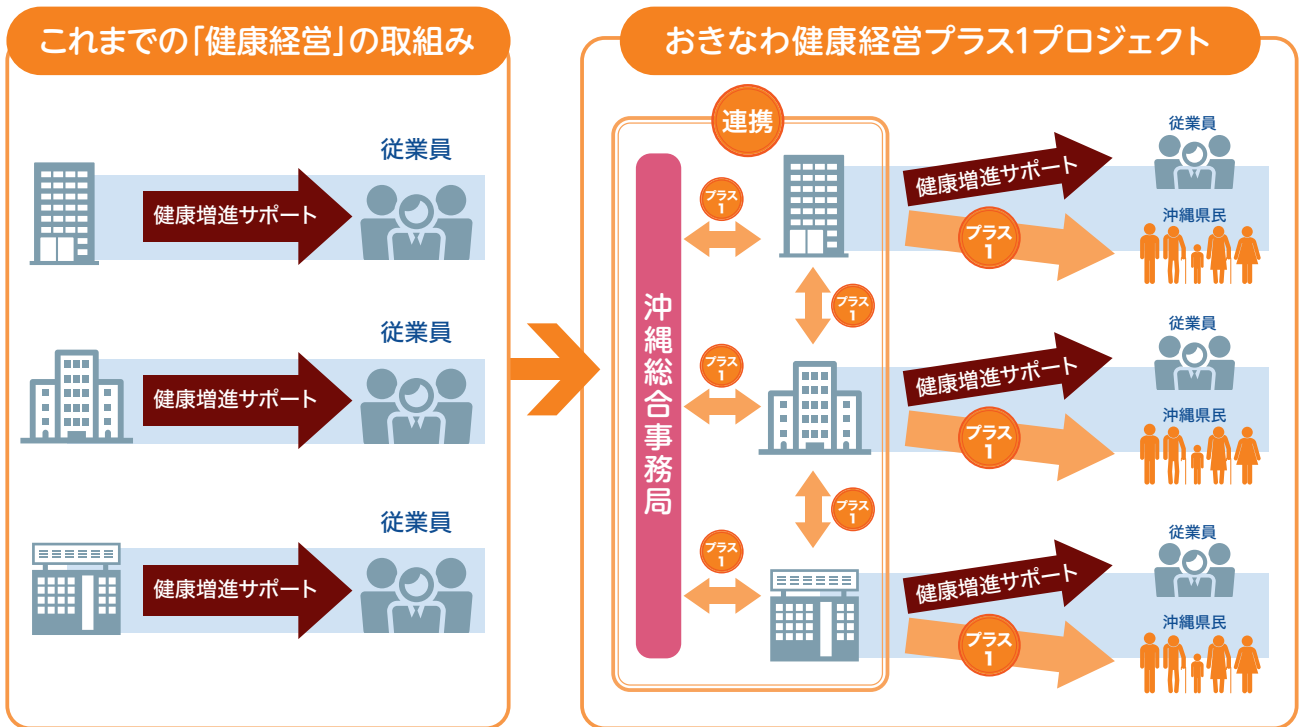
自社における質の高い健康経営を目指し、  
参画企業等が連携し、健康経営に関する取組の相乗効果を図る

03

県内で健康経営を推進する企業等の最大化（すそ野拡大）を目指す

## ▶▶プロジェクトの活動・取組イメージ

健康経営を推進する企業等が沖縄県民の健康を支える環境を構築



### おきなわ健康経営プラス1プロジェクト (事務局：内閣府沖縄総合事務局)

健康経営  
の質の向上

×

賛同企業  
の健康経営

×

県民

連携

支援  
機関



#### 【活動内容】

- (1) プロジェクト会合に関する事
- (2) 健康経営に関する情報共有・発信に関する事
- (3) 健康経営のすそ野拡大・質の向上を目的とした、各者の相互協力に関する事
- (4) 地域の健康保持・増進に資する活動に関する事
- (5) 人材育成に関する事
- (6) その他、上記に関連する事





## 14社における「プラス1」の取組

01 沖縄海邦銀行	かいぎん食育プロジェクト 「食育 SAT 体験でわたしに合った栄養バランスを知ろう♪」を開催
02 沖縄銀行	店舗網を活用し、全店で健康意識向上に繋がる「見て」「聞いて」「体感できる」ロビー展の開催
03 沖縄セルラー電話	沖縄県民向け健康サポートアプリ「JOTOホームドクター」の提供
04 沖縄ツーリスト	沖縄県民向け！健康ツーリズムプログラム等の提供
05 沖縄電力	沖縄県内の働く皆さまを支える企業・自治体向け、健康管理支援サービスの提供
06 オリオンビール	酒類ブランド商品別の純アルコール量を明示 ● ホームページへ掲載開始（2021年3月30日） ● 各商品缶体への表記開始（2021年7月以降順次）
07 大同火災海上保険	「この島のあんしん・あんぜん白書」発刊による健康情報の沖縄県民向け発信
08 東京海上日動火災保険	● 『沖縄県の健康経営に取り組む企業・団体向け、従業員の皆様への企画用冊子「健康保持に向けた取り組み（記録表付き）」等の健康支援ツールの提供』 ● 健康経営優良法人認定を目指す企業への認定取得に向けたご支援
09 日本トランスオーシャン航空	からだチンダミ活動（チンダミ＝島くとぅばで「調弦」の意味） ● ウォーキングアプリ「JAL Wellnes & Travel」の提供 ● 離島を含む県内のスポーツイベントへの協賛など
10 有限会社三崎工業	HPを充実させ、健康経営に関する最新情報の発信及び沖縄県民向けの健康保持・増進に関する機会を設ける
11 明治安田生命保険	健康経営認証取得を目指す企業様の健康課題把握と結果分析を主とする健康経営認証全般のご支援
12 琉球銀行	健康に関するセミナーの開催等、健康に関する情報提供を県内へ広く実施する
13 琉球ネットワークサービス	健康管理スマホアプリ「Health Condition Notes」の提供
14 ANA 沖縄空港	● “日常生活で移動するだけで素敵な特典をゲット”楽しみながら健康をサポートする「ANA Pocket アプリ」の提供 ● “ご利用いただく皆さまの安心のために” ANA 独自の新型コロナウイルス感染対策「ANA Care Promise」の実施 ● “県民の皆さまの健康を応援します！” 県内スポーツイベントへの参加、スポーツ施設・スポーツ団体への支援 ● 自社ホームページでの健康経営の取り組み紹介

# 健康経営

## に取り組む企業の声

「健康経営」の大切さはわかったけど、実際、企業として社内でのどのように位置づけ、どう始めたらいいのかわからない…。というそのあなた！  
おきなわ健康経営プラス1プロジェクトの事務局が、参画企業の皆様の生の声を聞いてきました！



～社員に質のいい人生を送ってもらうため、安心して働けて  
やりがいがある企業を目指していきたい～

Corporate Voice 01



## 沖繩ツーリスト株式会社 常務取締役 宮平 彰夫 さん

### DATA

昭和33年創業。沖縄の本土復帰前から営業する老舗旅行会社。沖縄・全国・海外に展開する店舗ネットワーク（令和5年3月現在、県内10カ所、国内2カ所、海外1カ所）を活かした旅行プランを取り扱う。その他、レンタカー事業、宿やアクティビティなど飛行機を除く全ての旅行素材をWEB上で提供するOTA（Online Travel Agent）事業なども手掛ける。

企業の声

取組事例紹介

## Voice

### 健康経営に取り組むきっかけや取組内容を教えてください。

2015年に沖縄ツーリストグループ全社員に、会社の収益力アップに関する個人面談を実施したところ、課題の一つとして喫煙問題が挙がりました。タバコは喫煙者だけの問題だけではなく、非喫煙者の社員やお客様にも健康被害を及ぼす可能性があるのと同時に、当社は旅行・サービスを中心とする接客業であるため、喫煙臭によるお客様への影響を考慮した結果、社内全体で禁煙に関するプロジェクトを開始しました。

しかし、当初はなかなかうまくいかなかったため、組織を健康経営推進本部に格上げして取締役も配置し、灰皿の廃止から開始して、移行期としての電子タバコの支給、禁煙外来サポート等各種支援を行いました。結果として、取組開始から約4年半で全社員が禁煙を達成しました。

また、喫煙問題に限らず、健康な状態でないと仕事のパフォーマンスが最大化できないため、健康診断受診率100%を目指す取組や、運動・メンタル面も含めた形で健康経営の範囲を広げて取り組んでいます。

### 従業員を巻き込んでいくために工夫していることは？

各支店や部署に健康づくりの担当を設置しているほか、社内で行っているウォーキングイベントにおいては、それぞれの個人が置かれた状況に応じて、年代別・男女別・子育て世代別・アスリート級（高記録者）等といったカテゴリー別に表彰制度を設けているため、「自分ができることから少しずつ意識して歩こう」といったような社員の意欲を高めるための仕組みづくりをしています。また、従業員だけでなくその家族に対しても、市町村が行うウォーキングイベントへの参加費と健康弁当を支給しています。家族の健康づくりと家庭内でのコミュニケーション機会の促進に繋がっていただきたいと思います。

### 健康経営を切り口とした他企業との連携について。

おきなわ健康経営プラス1プロジェクト会合や、健康経営優良法人認定ブライツ500を取得した会社同士で交流していく中で、お互い取組を共有し合っております。他社の取り組みを知ったり、助言を頂く事で、当社の取り組みについて改めて考えるきっかけとなり、新たな目標が生まれています。

また、おきなわ健康経営プラス1プロジェクト会合の中で当社

の禁煙に関する取り組みを紹介したところ、他社の健康づくり担当者からのお声もが多く、2023年1月には県看護協会・看護おきなわ健康21委員会主催の「禁煙支援者実践報告・研修会」にて、職員の禁煙支援について当社よりお話をいただきました。

### 沖縄の健康長寿県復活についてどう考えていますか？

沖縄県は元々長寿県でしたが、現在は20歳代から60歳代の働き世代の健康について課題があると言われております。何かあってから健康について考えるのではなく、予防の観点も含めて今の健康を心掛ける事で、生涯健康で過ごす事ができるという意識をもって欲しいです。

健康長寿県の復活のために、まずは身近なところから健康を意識する取り組みを、会社として実践していきたいと思っております。

### 今後の目標をお聞かせください！

今後、高齢化社会が進んでいく中で介護問題がさらに深刻化し、育児と介護が重なり両方のケアが必要な場面がでてきます。そんなときに育児や介護休暇を取得した時の保証制度を会社が負担し、手厚くサポートできるような制度を整えていきたいです。また、制度があっても取得しづらいといったような環境もあり得るので、誰もが安心してこのような休暇を取得できるような環境づくりも大切です。当社では、社員が安心して働けて、やりがいをもてるような企業を目指し、質のいい人生を送って頂ける事を願っています。



ひやみかち なはウォークへ参加する社員の様子

## 有限会社 三崎工業

代表取締役 知念 秀明 さん

## DATA

昭和 57 年設立。建設業における管工事業を主体に、集合住宅の新築工事の給排水工事、マンション共有部のメンテナンス・改修工事を行う専門工事業者。

雇用者数 12 名。平成 24 年、沖縄県中央保健所 健康づくり優良事業所表彰受賞。令和元年、沖縄労働局長表彰（健康確保）受賞。



## Voice

## 健康経営に取り組むきっかけや健康経営優良法人にエントリーするきっかけを教えてください。

当社は社員が12名で、それぞれが重要な役割を担っているため、誰一人として欠かせない少数精鋭制です。そのため設立当初から、社員一人一人の健康確保が重要な課題であり、「働くこと 学ぶこと 健康なことが 最高の財産」というスローガンを掲げています。

また、健康状態に不安を抱えながら勤務することは、本人の100%の力を発揮することは難しくなります。社員には安心して働いてもらえる会社でありたいという思いから、健康経営に取り組んでいます。

さらに、会社として健康経営優良法人認定を受けることで、取り組み内容が明確化されることへの期待から、エントリーすることにしました。

## 具体的にどんな取り組みをされているのでしょうか。

当社では、社員全員に確実に健康診断を受診してもらうため、予め会社で健康診断の日を確保し、当日は現場の業務が入らないよう優先してもらうようにしています。また、日々の取り組みとしては、オリジナルの健康管理シートを整備し、社員の毎日の食事（野菜摂取等）や睡眠、運動（歩数管理）、体調管理を行い、社員が自身の健康について意識してもらうような工夫を行っています。何か特別な予算を立てるわけではなく、すぐできる事・無理の無い範囲で負担なく継続できる取り組みを意識しています。中小企業だから手が回らないではなく、中小企業の強み（内部統率が取りやすい、顔が見えやすい関係）を活かして、できることをやっていく事が大事だと考えます。

## 健康経営に取り組むにあたり、社内に導入した仕組み・制度等があれば教えてください。

社員の健康維持のために、民間のスポーツジムの利用料補助制度を取り入れておりますが、休憩時間などの隙間時間も利用して少しずつでも身体を動かしてもらえるよう、自社にトレーニング機器を導入しました。継続して取り組むためには、まずはできる事から実践する事が重要となりますので、これをきっかけに、一人ひとりに健康を意識してもらえる事を期待しています。

また、沖縄県事業を活用して、社員向けに味覚講座や血圧をテーマにした講座、フィットネス講座を実施するなど、公的制度

をフル活用しています。

メンタルヘルスケアの面では、厚生労働大臣が定める研修を受けた看護師へ外部委託を行い、質問票の回答分析・全体総評のフィードバック、必要に応じて面談をお願いしています。従業員数が少ない分、距離が近くて本音を話づらい部分もあると思うので、外部専門家に依頼する事で、安心して回答してもらうように工夫しています。ここ数年は、コロナ禍でストレスも多くなっている傾向にあるので、心身への不安を少しでも和らげるキッカケとなっています。

## 健康経営がもたらす経営上の効果について、教えてください。

健康課題を把握するにあたり、健診・検診の積極的な受診、セミナー等への積極的な参加による社員教育、外部との連携を行っています。具体的な取り組みについては、「健康経営優良法人認定申請書」の質問や選択肢が参考になることから、これらの中で次に取り組める事を検討し、「スモールチェンジ」を心掛けています。組織の関係性の改善、環境整備、人材育成等全てにおいてPDCAサイクルを意識することで経営改善に役立っています。

## 沖縄の健康長寿県復活について思うこと、御社として取り組みたい事はありますか。

2040年までに健康長寿県復活を実現するためには、社会環境が整備され、かつ官民一体となった連携が必要です。私自身も健康であることに日々感謝を忘れず、県民の皆様にも「明るく笑顔になれる健康情報」を発信できれば幸いです。



社内に設置したトレーニングマシン

# ～「セルフ・ヘルスケア」をモットーに～ 一社員が活気に溢れて仕事し、いくつになっても健康で働ける ことで、地域経済の発展・地域社会に貢献していきたい

## 株式会社 琉球銀行 常務取締役 島袋 健 さん

### DATA

昭和23年5月戦後の米軍統治下において、沖縄経済を支える金融機関として設立された。現在は、経済活動を支える金融インフラとしての機能だけに留まらず、様々な金融サービスの提供により、地域と共に持続可能な社会の実現を目指す。



## Voice

### 健康経営に取り組むきっかけや取り組み内容を教えてください。

以前より、全社員向けストレスチェックの実施や、始業前の「モーニングストレッチ」、禁煙講座・ウォーキングイベントの開催、健康診断の結果をもとに社員一人ひとりと面談する「健康相談」等、各種取組を実施していました。その中で、健康経営優良法人認定制度があることを知り、2019年からチャレンジしています。認定に向けて調査票の回答を始めると、例えば「健康経営宣言」の実施やHPでの取組事項の公開、各種施策の実施率の測定など、まだ取り組んでいなかった課題にも気づきました。これまでの取り組みを見える化することで、健康経営で実現したい事がより明確になりました。

### 健康経営の取り組みについて、各部署や支店横断的に従業員を巻き込んでいくために工夫していることはありますか？

各部署や支店に設置している「衛生推進者」「保健委員」が、社員の健康管理や健康経営についてリーダー的役割を担っています。また、労働組合と協力して全部店対抗のスポーツイベント等を定期的に開催しております。例えばウェアラブルデバイスを活用したウォーキングイベントの場合は、競争形式にすることでゲーム感覚を持ちながら楽しく歩いてもらうように工夫しております。また、頭取自らも健康経営に取り組む事を宣言し、日頃から階段を利用するなど、経営者自身も意識して取り組んでおります。

### 健康経営に取り組むにあたり、社内に導入した仕組みや制度があれば教えてください。

本格的に健康経営に力を入れていくにあたり、2019年より「健康サポート室」を新たに立ち上げ、産業保健師を4名に増員しました。これを機に、人事部を中心として横連携を取りつつ、経営部門からも支援を行うという体制をつくりました。また、支店内食堂では栄養士がカロリーを考慮したヘルシーメニューを提供し、社員の健康的な食生活をサポートしています。さらに、2022年12月には、りゅうぎん健保会館にスポーツジムをオープンしました。週に2回インストラクターも配置しているので、初心者でも安心して利用できるようにしているので、最大限に活用してもらい社員全員に健康になって欲しいと考えています。

### 取組んでみての成果や社内の変化の実感はありますか？

健康経営優良法人に認定されたことで、職員の健康への関心がより高まったと感じています。わかりやすい指標としては、喫煙率が2019年11.8%、2020年9.8%、2021年7.8%と年々減少傾向にあります。また健康に関する全従業員向けアンケートを年に4回行っていますが、健康経営に関するポジティブな意見やリクエスト等も多く社員の関心の高さを感じています。

特に禁煙に関する取り組みについて、職場の生産性が向上したか質問したところ、約2割の社員が生産性が向上したと回答しており、生産性の向上を実感していることがわかりました。また、社員同士の会話の中でも、睡眠や健康について話題となる事が増えてきており、個人個人の意識が変わってきていると感じられます。

### 他企業と健康経営について話題になることは？

認定を受けると利用できる「健康経営優良法人」のロゴマークを、当行では毎年名刺に掲載していますが、営業担当者から「名刺を見たお客様と健康経営について盛り上がった」という話を聞いています。また、県内の健康経営優良法人の社員の方とは「どのような取り組みをしているか」等、情報交換・意見交換をすることもありますが、

おきなわ健康経営プラス1プロジェクトは、県内の健康経営優良法人とつながる、とても貴重な場所になっています。今後も県内の健康経営優良法人との情報交換、交流を通じて、健康施策に関する連携や裾野拡大に積極的に取り組みたいと考えています。



インタビューにご対応頂いた琉球銀行の皆様  
(右から比嘉調査役、翁長次長、多嘉良部長、島袋常務取締役)

# ～一人ひとりが チャーがんじゅう！～

## 沖縄から日本国内・世界各地をつなぐ那覇空港の安全を支える 社員一人ひとりの健康を幅広くサポート



### ANA沖縄空港株式会社

代表取締役社長 窪田 啓一郎 さん

#### DATA

昭和 39 年設立。平成 28 年に株式会社エアー沖縄と株式会社グランドシステムが統合し、ANA 沖縄空港として新生スタート。那覇・石垣・宮古の3空港において、旅客ハンドリング業務・貨物運送事業・車両の整備事業など ANA グループおよび国内外の航空会社の空港オペレーション全般を担っている。

### Voice

**企業理念や健康経営に取り組むきっかけを教えてください。**

当社は、那覇・石垣・宮古の3つの空港の地上オペレーションを担っており、お客様に対して安心・安全かつ快適なサービスを提供することが最も重要となります。また、社員が約1200名在籍し、それぞれ業務形態が異なるため、社員一人ひとりに良いパフォーマンスを発揮してもらうためには健康である事が必要不可欠だと考え、積極的に健康経営に取り組んでいます。

2017年にANAグループの国内主要空港地区に健康管理室を設置し、健康管理・健康経営を展開し始めたのがきっかけで、2020年の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて取り組みを強化しました。当時は、社員の健康や将来に対する不安が大きくなる一方で、健康であることがお客様への良いサービス提供につながると、より意識するようになりました。コロナ禍によって多くの国民が健康を見直すきっかけになったのではないのでしょうか。

**各部署横断的に従業員を巻き込んでいくために工夫していることや継続していく上でのコツはありますか。**

那覇空港において当社では接客が中心となる旅客業務・航空機牽引等のグランドハンドリング業務や貨物業務などに従事しており、その他のグループ社を含めて約2000名が勤務しております。そのほとんどが変則勤務（シフト勤務）です。人数が多ければ多いほど健康課題も多くなりますが、各人に合ったきめ細やかな対応ができるよう心掛けています。

また、コロナ禍においては、産業医、保健師（社員の親族の協力もありました）の協力を得ながら県内でいち早く職域接種に取り組めました。シフト勤務も多いため、健康管理室が運営の中心となって夜間のワクチン接種対応も行い、感染対策に努めてきました。

各部署横断的に取り組む必要がある場面では、経営者のリードが重要となってくるため、会社一丸となって健康経営に取り組むために2021年に社として「健康経営宣言」を発出し、私から全社員宛てに「今後はより一層積極的に健康増進に取り組んでいく」というメッセージを配信しました。各活動については、個人に寄り添った対応を行う必要があるため、社員の発案を重視し、WEBウォーキング大会、適正飲酒活動、熱中症対策等の各種取り組みを行っています。

**健康経営優良法人認定を受けることや健康経営宣言をする事でメリットはありましたか。**

大きく3つあります。一つ目は採用力です。近年、就職時に重視されるのが「働きやすさ」とされている中で、健康経営に取り組むという事は、社員が心身ともに健康で安心して働ける環境づくりをしているという事になりますので、採用力強化に繋がります。二つ目は健康管理室の認知度が社内の中で高まり、より効果的な活用をしてもらえるようになったことです。同室を2017年に設置しましたが、社内外向けに健康経営宣言をすることで、以前より気軽に相談に来てもらう事ができるようになりました。また、認知度が上がった事で人事や各部署とも連携が取りやすくなり、「点」ではなく「面」での取組強化へと繋がりました。三つ目は、健康経営を実施している他社との交流が広がり、社外での健康経営活動にも目を向けるきっかけとなりました。

**社長自身の健康に関する意識や取り組みを教えてください。**

単身赴任なので毎朝自分で朝食を準備していますが、栄養やカロリーバランスに気を付けるようになりました。また、記録用に朝食の写真を撮って家族へ送ったり、食事記録用のアプリを活用したりしてバランスを意識し、食べ過ぎた場合はウォーキングをするなどしてリカバリーをするようにしています。

**沖縄の健康長寿県復活について思うことはありますか。**

当社社員の大半は沖縄県出身です。沖縄は独特の欧米食の多さや車社会による運動不足など長年の健康課題がありますが、それらの改善に向けた取り組みのキッカケとして県内企業を巻き込んでいくのは非常に有効だと思います。今後は他企業との連携を通して、健康長寿県復活を目指していきます。



NAHA マラソンでの  
応援の様子

# 取組事例紹介

おきなわ健康経営プラス1プロジェクトの参画企業は、幅広い業種の皆様に参画して頂いております。

ここからは、参画企業全社のお取り組みと、沖縄県民向けに提供している健康保持・増進に資する**プラス1**の活動を紹介していきます！





# Beyond the 『健幸』 Bank を目指して！



## 株式会社沖縄海邦銀行



### Company Profile

住 所：那覇市久茂地 2-9-12  
業 種：銀行業  
従業員数：814名（2022年12月現在）  
HPURL：https://www.kaiho-bank.co.jp



歩数イベントの表彰式



歩数イベントチラシ



食育 SAT 体験会の様子



まーさん



## きっかけ

### 『健幸』は大切な財産

弊行では、経営理念の一つに「人材の育成と活力ある職場づくりに努める」を掲げ、「地域貢献」「健全経営」の実現に努めてきました。

活力ある職場づくりには、職員が幸せであること、心身ともに健康であること『健幸』が何よりも重要です。

そこで、2021年に「職員の『健幸』は銀行が守るべき大切な財産と考え、一人ひとりの健康を支える取組みをより一層推進し、未来に向かって成長していくこと」という内容の健康経営宣言を公表し、健康経営の取組みを本格的にスタートしました！

これからも、職員とともに健康経営を通して沖縄県の健康長寿の延伸と地域経済の発展に貢献していきます。



## 社内での健康経営に関する取組

### 「職員一人ひとりが『健幸』で、未来に向かって成長するかいぎん」

弊行の健康課題の実態として、「メタボリックシンドローム該当者・予備群該当者」の割合が高いということが明らかとなりました。そのため、生活習慣病の発症・重症化予防等に取組み、職員の健康づくり及び活力ある職場づくりを推進しています。

- ① 疾病予防（保健師による臨店健康相談、敷地内禁煙の実施、新型コロナワクチン職域接種の開催）
- ② 運動プロジェクト（歩数イベントの開催、ウェアラブルデバイス購入助成、運動施設の利用費助成）
- ③ 食育プロジェクト（かいぎん食育SAT体験会、栄養士による昼食メニューの提供）
- ④ 心の健康・働きやすい職場づくりプロジェクト（メンタルヘルス研修会、定時退行キャンペーン、年次有給休暇取得の推進）
- ⑤ 女性の健康づくりプロジェクト



## 効果・メリット

### 運動習慣づくりやコミュニケーション活性化へ！

コロナ禍でも開催できるよう、歩数アプリとウェアラブル端末を活用した歩数イベント『KAIHOO HOLOHOLOチャレンジ2022』を開催しました。

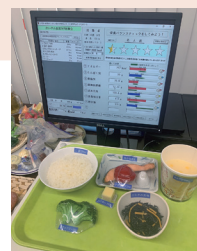
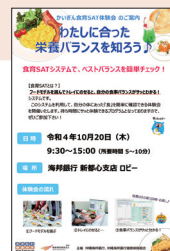
アンケートにて、回答者の約6割が、イベント前後の歩数が「増えた」と回答しており、運動習慣づくりに繋がりました。また、所属チーム対抗で平均歩数を競い合うことで、グループダイナミクス効果となって盛り上がり、「イベントを通して職員間の共通の話題として会話が增えた」「話題づくりになった」等、職員間のコミュニケーション活性化や連帯感の向上を実感した声も聞かれました。

## プラス1 取組内容

### かいぎん食育プロジェクト始動！

健保組合とのコラボで、実際に見て体験しながら、食生活の振り返りや食の選択力を身につけることを目的に、『かいぎん食育SAT体験会』を開催しました。

弊行職員のみならず、県民の健康保持・増進にも寄与するイベントにしたいと考え、営業店でも開催し、お客様にも参加していただきました。



体験型栄養教育システム（食育 SAT）



# 全員が健康応援バンカー！ (ALL-KOB)

02  
CASE

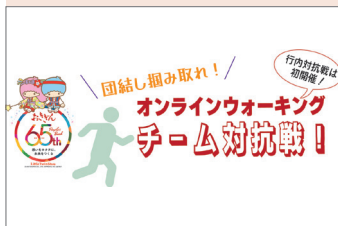


## 株式会社沖縄銀行



### Company Profile

住 所：那覇市久茂地 3-10-1  
業 種：銀行業  
従業員数：1,169 名 (2022 年 3 月末現在)  
HPURL：https://www.okinawa-bank.co.jp/



各種ウォーキング大会へ家族で参加

オンラインウォークでコミュニケーションを高めています。他社主催の企業対抗戦にも参加!

地域行事やクリーン活動を通し、環境から繋がる健康、活動による運動に繋がっています。

企業の声

取組事例紹介



## きっかけ

### 「健康応援バンク」を掲げ、健康を支える取組みを強化

2005年、沖縄県の県民一体の健康づくり運動「健康おきなわ21」に賛同する形で「健康応援バンク」の名称を掲げたことをきっかけに、県民をはじめ役職員の健康推進に貢献し長寿日本一を目指すべく日々取り組んでいます。「健康づくりは人材づくり」の観点から、全役職員が健康に対する意識を高め、自身と家族、職場全体の健康増進に努めていく「ALL-KOB」プランを策定し、個々人の有所見率改善を目指し、具体策を随時検討しております。

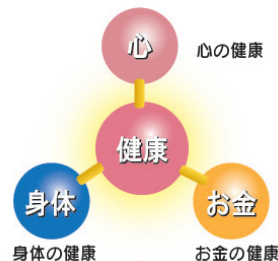


## 社内での健康経営に関する取組

### 心と身体とお金の健康バランスを整えて！

WHOでは「健康とは、肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり……」と定義されており、経済的な豊かさも健康を保つ要因と考えております。

- 儉約・節約・健康推進運動・・・健康ウォークマップ
- ウォーキングを主体とした各種イベント
- 上司カウンセリング制度
- ダイエット・禁煙チャレンジャー
- 定時退社日の設定、記念日休暇などの休暇制度の充実他



## 効果・メリット

### 地域貢献・社会貢献につながる

- 職員が健康であることは、労働生産性の向上につながる
- 企業が負担する医療費の削減
- 離職率を減らし、定着率を改善する
- お客さまに信頼される銀行となる
- 会社も地域も、豊かになる



## プラス1 取組内容

### あなたの健康、再確認!!

～健康意識を高めよう! 「見て」「聞いて」「体感する」ロビー展～  
職員および来店されるお客さまへの「自身の健康」と向き合う時間(きっかけ)の提供から、沖縄県民のヘルスリテラシー向上・健康経営の普及に繋がれば、健康意識向上に繋がるロビー展を開催中です。1店舗あたり10日程度の展示で現在までに18店舗で開催。他機関・企業のご協力も得ながら、全店舗開催に向け、内容充実を図りながら取り組んでいます。



本店開催時の写真



## アプリを活用した健康経営

### 沖縄セルラー電話株式会社



#### Company Profile

住 所：沖縄県那覇市松山 1-2-1 号  
業 種：電気通信業  
従業員数：496名（2022年1月現在）※連結  
HP URL：https://okinawa-cellular.jp/



JOTOホームドクター



タニタ機器の設置



女性の健康セミナー

企業の声

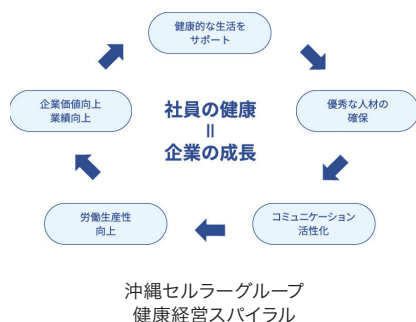
取組事例紹介



### きっかけ

#### 社員の健康 = 企業の成長

社員が幸せで、活力ある企業であり続けるためには、社員の「健康」が重要な経営課題と捉え、「社員の物心両面での幸福を追求すること」との経営の理念のもと、社員一人ひとりの健康を組織で支える健康経営を推進しました。



### 社内での健康経営に関する取組

#### アプリ（JOTOホームドクター）で健康経営

- ① 自社のアプリ「JOTOホームドクター」による個人健康管理
- ② タニタ製体重組成計+血圧計設置

上記の健康経営ツールを活用したウェルビーチャレンジを実施しました。

【概要】期間中平均歩数+個人の健康チャレンジ成功によるポイント加算。

【チャレンジ項目】

- ・おなか周りすっきりチャレンジ（腹囲 マイナス3cm）
- ・コソコソダイエットチャレンジ（体重 マイナス3%）
- ・血圧コントロールチャレンジ（月4回以上の計測） e t c



### 効果・メリット

#### 従業員全体の平均歩数増加+コミュニケーション活性化

リモートワーク環境による運動不足とコミュニケーション不足が本イベントで解決されました。

- ◆ チームの平均歩数を意識することで、終業後のウォーキングや階段の活用による運動意識向上
- ◆ 従業員同士が歩数や健康チャレンジを話題に部門横断のコミュニケーション活性化  
全従業員平均歩数 イベント前 4,500歩 イベント後 5,500歩 1,000歩増加

### プラス1 取組内容

#### おきなわウォーク

沖縄県全市町村対抗オンラインウォーキングイベントを開催し沖縄県民の運動不足解消を目指します。

##### 【イベント概要】

スマホを持って「歩く」ことで市町村ごとや個人のランキングを競います。また、参加者はアプリに表示されるウォーキングコース上にある店舗でチェックインして専用ポイントも貯まります。

【期間】2021年11月～2022年1月



41市町村の風景をバックにしたおきなわウォークロゴ

# 一にも二にも 笑顔で元気に！



04  
CASE



## 沖縄ツーリスト 株式会社



### Company Profile



住 所：那覇市松尾 1-2-3  
業 種：旅行業・レンタカー事業・OTA 事業・  
保険販売事業  
従業員数：304 名（2022 年 4 月現在）  
HPURL：https://otspremium.com/

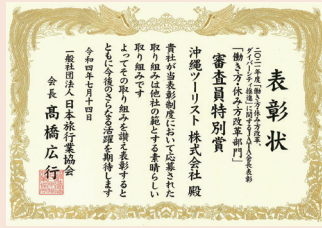
当日の様子も  
動画で見れます



Global Wellness Day



沖縄県健康づくり表彰  
(2021 年度事業所部門)



日本旅行業協会 審査員特別賞  
(働き方・休み方改革部門)

企業の声

取組事例紹介



## きっかけ

### 社員、お客様の声

2015年、OTSグループ全社員を対象として個別面談を実施。その結果、課題の一つとして見てきたのが「喫煙問題」でした。

喫煙問題は、喫煙者をもとより受動喫煙による非喫煙者の社員やお客様にも健康被害をおよぼす可能性があり、接客業務を担う立場であることからまずは喫煙による健康被害を防止しようと2016年、社内に健康経営の部署を新設しました。

また社員と家族が身体ともに健康であることは、個々のパフォーマンスを向上させ、仕事・家庭の両面においても生活の質の向上が見込めると考え「飲酒」「食事」「運動」「睡眠」についての対策も取り組んでおります。



## 社内での健康経営に関する取組

### 社員一人ひとりのパフォーマンス向上及び健康確保に向けての取組推進

- ・OTS受動喫煙削減プロジェクト=2020年までに全員が非喫煙者になり(目標達成)、現在継続中
- ・シンデレラ運動(暴飲、暴食を避け、適正な飲酒、食事、睡眠をとることを目的として24時間までの就寝を推奨)
- ・社内ウォーキングイベント「歩GO(あるこう)」の実施(歩数計測、成果発表など)
- ・ボランティア活動・SDGsパスポートの普及活動
- ・健康に関するオンラインセミナー等(各種団体、企業へ講師依頼)  
(腸の勉強会、ウイルス感染について、パワハラ、喫煙の害、アンガーマネジメント等)
- ・感染症予防対策(新型コロナ、インフルエンザ、風しん、麻疹などの予防接種等)
- ・各種イベントへの参加：ヨガ(Global Wellness Day 毎年6月第2土曜日)、ウォーキング大会(那覇市、浦添市、南城市、沖縄市、名護市)
- ・年次有給休暇の取得促進とOTS休暇促進旅行支援制度(社員が弊社のツアーに参加する際の料金の一部を補助)の計画的取得の推進



## 効果・メリット

健康経営の部署の設置により社内業務通達としてより強いメッセージを発することが出来るようになり、健診結果における生活習慣病のリスクと捉える項目についても数値が改善されていることや「シンデレラ運動」により適正飲酒、睡眠などの改善で、健康意識の向上に繋がっています。

コロナ禍において実施した各種取組が社員一人ひとりの健康意識を変えるきっかけとなり、商品・サービスの向上に繋がっています。総合的に組織の活性化をもたらす結果となりました。

## プラス1 取組内容

### OTSらしい旅行企画商品！

健康増進を目的とした旅行商品などを提供していきます。

【ハイキング&山歩き/トレッキング】

【SDGs シリズ】

沖縄県ユネスコ協会の「SDGs パスポート」を配布し、各種団体、地域のボランティアに家族ぐるみで参加、SDGs 活動・パスポートの普及も兼ねた活動に繋がっています。



ハイキング&山歩き/トレッキング



SDGs シリズ



# 働く人が生き生き暮らせる 沖縄の未来へ向かって

## 沖縄電力株式会社

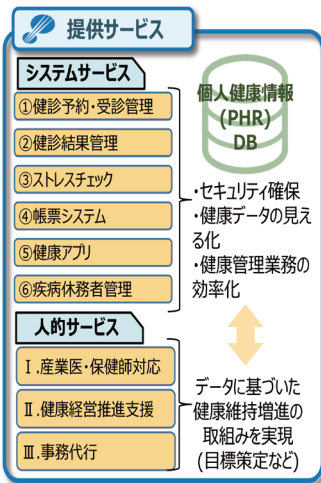


### Company Profile

住 所：沖縄県浦添市牧港 5 丁目  
業 種：電力・ガス  
従業員数：1,532 名（2022 年 3 月 31 日現在）  
HPURL：https://www.okiden.co.jp/active/health/



健康でイキイキ働く社員



### お客さまへの提供価値

#### 県内企業・自治体・健康保険組合

- 従業員の健康増進
- 企業価値・業績向上
- 従業員満足度向上 ○ 業務効率化
- 健康経営実現 ○ コンプライアンス遵守
- ホワイト500認定サポート
- データに基づいた取組み実施
- 従業員の採用・定着向上 ○ 離職率低下

#### 県内で働く皆さま

- 健康増進 ○ 健康寿命の延伸
- 健康意識醸成 ○ 業務の質向上
- ワークライフバランス向上

#### 県内健診機関(病院)

- 業務効率化 ○ サービス向上
- 集客効果

おきでん健康管理支援サービスの概略



## きっかけ

### 創業時から産業医・保健師を配置し、社員の健康をサポート

当社は2022年5月で創立50周年を迎えましたが、創立当初より、健康管理担当者、保健師を配置し、従業員の健康管理推進の取り組みを行ってきました。

また、今から約20年前に自社内に健康管理のシステムを構築し、2014年からは健康経営の取り組みを開始しております。

2019年健康経営優良法人ホワイト500を取得し、以降2023年まで5年連続認定。2020年からは当社G会社従業員も含め健康経営の取り組みを推進しています。



## 社内での健康経営に関する取組

### 「自分の健康は自分で守る」を基本目標に、社員が主体的に自分にあった健康づくりができるよう支援

当社では、従業員のヘルスリテラシーの向上を目指し『生活習慣病総合対策（健康おきでん21ロードマップ）』、『メンタルヘルス対策（おきでんこころの健康づくり基本計画）』を策定しています。これらは、会社が健康管理の促進、健康保持・増進、働きやすい職場環境づくりに取り組むことで、従業員自ら「自分の健康は自分で守る」ことができるよう各社員にあった健康づくりの提供を目指すものです。

また、当社では、生活習慣病の発症予防と定期健康診断の有所見率を下げることを目標に、未病対策と重症化予防対策につなげるための各種支援施策を実施し、具体的な目標値 (KPI) を定め健康施策の継続に努めています。



## 効果・メリット

### 活動の一例：コロナ禍でもできる社内ウォーキングイベント

コロナ禍に伴い、大勢で実施する職場体育推進活動などのスポーツイベント開催は難しくなったものの、全役職員を対象に約1か月半、目標歩数を定め、スマートフォンアプリや歩数計を活用し、非集合型のウォーキングイベントを開催しました。

歩数をランキングし、目標歩数を達成した全員に達成賞、社長の次の順位の方に特別賞を授与するなど、多くの方が参加し楽しみながら健康増進することができました。



## プラス1 取組内容

### おきでん健康管理支援サービスを提供

『DX × 健康経営』として、健康診断に関するシステムサービスと産業医や保健師による人的サービスの二つを一体とした「おきでん健康管理支援サービス」を県内の企業や自治体で働く皆様、健康保険組合加入者様、健診機関の皆様へ当社のプラス1の取組みとして提供します。

この取り組みを通じて、働く皆さまの健康増進、健康管理業務の効率化や法定事項対応など健康経営に寄与することで、沖縄の長寿県復活や働き盛り世代の皆さまが健康で生き活きと働き、沖縄の更なる発展に貢献したいと考えています。

また、サービスの品質向上に向け、各社様との共創も見据え取組んで参ります。



# 沖縄から、人を、場を、世界を、笑顔に。

06  
CASE



## オリオンビール株式会社



### Company Profile

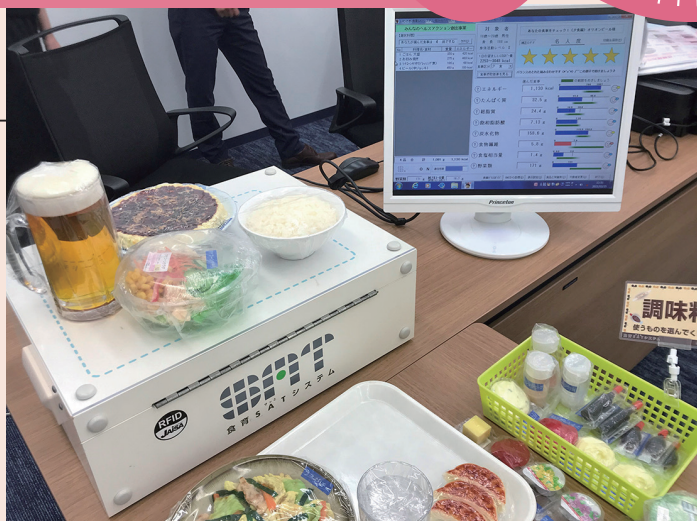
住所：本社 豊見城市字豊崎 1-411 (トミトン内)  
工場 名護市東江 2-2-1  
業種：ビール類製造販売、清涼飲料販売、  
リゾートホテル事業  
従業員数：247名 (2023年1月現在)  
HPURL：<https://www.orionbeer.co.jp/>



ウォーキングコンテストの参加賞として、社員がデザインした除菌ハンドジェルを配布しました。



体験型食育プログラム「SAT」実施の様子



企業の声

取組事例紹介



## きっかけ

### “ORION WAY”

オリオングループの若手社員が中心となって策定した、グループ理念“ORION WAY”では次のように定めています。

私たちは、全ての従業員が心身ともに健やかで安心な生活を送れるようサポートしなければならない

ORION WAYの策定にあたり、社員ひいてはその家族の健康が会社にとって重要な財産であることを再確認しました。

いきいきと働くことができる職場環境を作ることで、仕事に対して前向きに取り組めることに繋がると考えています。



## 社内での健康経営に関する取組

### “従業員参加型”の健康施策

年に1回の健康診断やストレスチェックに加え、従業員本人に直近の健康習慣を振り返っていただくこと&会社全体の健康課題把握を目的として、独自の「セルフヘルスケア問診票」を展開しています。(飲酒、喫煙、運動、食生活、睡眠の習慣について)健康課題に対する理解を会社・本人双方で深め、解決に繋がる施策を実施しています。

- 社内ウォーキングコンテスト
- 体験型食育プログラム (SAT)
- 生活習慣改善プログラム (血糖値)
- 健康診断オプション等、社内制度の定期周知
- 社内健康セミナー複数開催 (喫煙、飲酒、女性の健康、アンガーマネジメント 等)
- 健康管理室を新設し保健師が常駐。社員の健康相談に対する相談体制を充実。



## 効果・メリット

### 従業員の健康意識向上

ウォーキングアプリを活用したコンテストは、個人別・部署別の歩数ランキングが日々更新されるため、ゲーム感覚で一歩でも多く歩くことを心がけたりと、従業員の健康意識向上に繋がりました。また、社内有志が“健康ブログ”として、健康に関する情報を社内イントラへ投稿することもしばしば見受けられるようになりました。

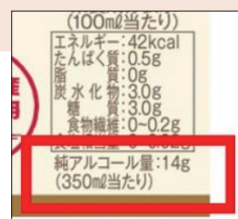
従業員本人が自身の健康課題と向き合い、自発的に考えられるよう、会社全体の健康意識を向上していくことが今後も継続課題です。

## プラス1 取組内容

### “純アルコール量”を表記

純アルコール量とは、お酒に含まれているアルコールの量を表しています。飲酒することによって体内にどのくらいのアルコールを摂取するかを示します。よって、同じ商品でも「容量」が変われば、体内に摂取されるアルコール量が変わるということです。

オリオンビールは、各商品に含まれるアルコールの量をしっかりと示して、“適正な飲酒生活”を送るための一助にしてほしい、という思いを込めて、今回の施策を実行します。



純アルコール量の  
缶体記載イメージ



# DNA 変革宣言 ～ Daido-Next-Actions ～

大同火災海上保険  
株式会社



Company Profile

住 所：沖縄県那覇市久茂地 1-12-1  
業 種：損害保険業、生命保険販売  
従業員数：341 名（2023 年 2 月現在）  
HPURL：https://www.daidokasai.co.jp/



からだの健康		こころの健康
健康診断の100%受診	健康経営宣言（社内・社外）	産業カウンセラーの活用
特定保健指導（100%利用）	ゆとり創造委員会のフォローアップ	ストレスチェック制度の実施
健康診断の集約・改善・目標設定	ノー残業デーの徹底	メンタルヘルス研修制度
Enjoy! Healthy Life!!コンテスト	健康に関する情報発信	こころの健康づくりハンドブック配布
禁煙への取り組み	テレワーク（在宅勤務）導入	
徒歩通勤の推奨		

健康に関する当社の取り組み内容



心身ともに『社員の健康』が第一！

企業の声

取組事例紹介



## きっかけ

### 健康経営推進検討PT を設置

当社では、健康診断における有所見率が高い傾向が続くなど「健康問題」が顕在化している状況がありました。

従業員の心身の健康が各人の生活基盤であるとともに、当社にとってかけがえのない「財産」であるとの認識に立ち、従業員一人ひとりがイキイキと働き続けることのできる労働環境の整備・充実に向け、取締役副社長をリーダーとする健康経営推進検討PT（プロジェクトチーム）を2017年8月に設置し、「健康経営」を推進してきました。



## 社内での健康経営に関する取組

### “Enjoy！Healthy-Life コンテスト”の実施

当社社員の健康診断における有所見率は、良好とはいえない状況であり、改善する必要があります。

「健康」は自分自身の為はもちろんですが、家族や身の回りの方の為でもあることを認識する必要があります。

改めて社員1人ひとりの「健康」に対する意識向上を図る観点から、健康維持・増進に関する社内コンテストを毎年開催しています。

カテゴリー	メニュー
食べる	毎日朝食（野菜）コース
	早めの夕食（野菜）コース
動く	ウォーキングコース
	ラジオ体操コース
	M Y 運動コース（ウォーキング除く）
休む	ぐっすりコース
	疲労回復コース
嗜好品	減酒コース【対象者：お酒をよく飲む方】
	禁煙コース【対象者：煙草を吸う方】 甘禁コース【対象者：甘い物を良く摂る方】



## 効果・メリット

社員が、「健康に対して現在よりちょっとでも意識するようになる」ことを目標に取り組んでいます。

コンテストはゲーム感覚で楽しみながら取り組むことができるよう、課支社単位のチーム対抗戦となっております。チームで取り組む為、健康に対する意識向上だけでなく、各職場での良好なコミュニケーションの一助にもつながっています。

## プラス1 取組内容

### 「この島のあんしん・あんぜん白書」の発刊

当社事業に関連が深い「交通安全」「防災」「防犯」「健康」に関する啓発を目的として、沖縄県の現状を確認する資料として各行政機関等が公開しているデータ等を取りまとめ分析を行いました。本書が県民の健康意識向上のキッカケになれば幸いです。



本書の表紙

# 健康経営も、ウチナー愛で ウチナーイン！！

08  
CASE



東京海上日動火災保険  
株式会社 沖縄支店



東京海上日動

## Company Profile



住 所：那覇市前島 2-21-13 ふそうビル 8 階  
業 種：保険業  
従業員数：68名(沖縄エリア合計)(2022年3月現在)  
HPURL：<https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/region/>



沖縄県がんじゅうさびら表彰  
事業所部門グランプリ受賞

マナティ×ビーチクリーンイベント

ダイエット部『oinkers』

企業の声

取組事例紹介



## きっかけ

### ◆当社の取組み

当社は経済産業省が推進する「健康経営銘柄」にも選定されており、年間を通じて健康増進に向けた取組みを行っています。

### ◆お客様の健康経営支援の取組み

社会的意義が高まる中、当社のノウハウを活かした貢献が重要であると考え、代理店の皆さまとともに、以下の取組みを実施しています。

『地域を支える県内の中堅・中小企業や公務・広域マーケットに当社グループの健康経営支援ソリューションを広くお届けし、社会課題の解決に貢献する。』



## 社内での健康経営に関する取組

### ◆マナティビーチクリーンイベントの開催

#### 1. 目的(背景)

- (1) 地元案内人とともに地域を歩き地域を知る。
- (2) 地域貢献を身近な取組として継続的に行う。
- (3) コロナ禍における社員間交流と健康増進。

#### 2. 取組内容

- (1) (株)マナティとの企業コラボイベント
- (2) 南城市の二か所に分かれてビーチクリーン後に地域ガイドとともに散策
- (3) コミュニケーションの一環としてInstagramにて各参加者が投稿、写真賞の創設

### ◆ダイエット部『oinkers』の取組

1. 任意のメンバー14人によるコロナ禍の運動促進
2. 毎週末の運動イベントの実施
3. 努力目標の設定とメンバー相互の取組および成果の報告共有



## 効果・メリット

マナティビーチクリーンイベントでは、社員・家族計32名が参加し、ウォーキングを通じた健康、社員間のコミュニケーション、地元の方の案内を通し、地域の文化・歴史を知る良い機会となりました。

「ダイエット部『oinkers』は、健康増進月間終了後も継続し、メンバーの健康増進、コミュニケーション向上につながっています。

## プラス1 取組内容

## 健康経営の第一歩からご相談下さい！

### ◆経済産業省の「健康経営優良法人認定」を目指す企業への認定取得に向けたご支援(無償)

弊社沖縄支店メンバーと弊社本店 地方創生・健康経営室が企業様の認定取得に向けた現状分析と認定に向けた改善アドバイスを実施。課題解決に向けた各種ソリューションツールも準備。

### ◆沖縄県の健康経営に取り組む企業・団体向け、従業員の皆様への企画用冊子「健康保持に向けた取り組み(記録表付き)」等の健康支援ツールの提供(無償)

(本ツールは弊社の「健康増進月間(健康チャレンジキャンペーン)」のノウハウを活用し作成したものです。健康経営優良法人認定支援等も合わせて実施しております。)



# からだをちんだみ！ 健康おきなわプロジェクト

日本トランスオーシャン航空  
株式会社 (JTA)



Company Profile

住 所：那覇市泉崎1-20-1 カフーナ旭橋A街区3階  
業 種：航空運輸業  
従業員数：802名（2022年3月末現在）  
HPURL：https://jta-Okinawa.com



那覇ハーリーに毎年参戦

企業の声

取組事例紹介



プラス1プロジェクトに参画



本気のラジオ体操



## きっかけ

### ホワイト500取得宣言

・2014年

社内禁煙対策がスタート  
(受動喫煙セミナー等実施)

・2017年

沖縄地区JALグループの健康会議において、JTAは「ホワイト500取得」を宣言！これより、健康経営への本格的な取り組みを開始。



ちんだみするよ！



## 社内での健康経営に関する取組

### 健康経営宣言の制定

- 私たちJTAは、企業理念にある「全社員の物心両面の幸福」を実現するため、社員一人ひとりの「心身の健康」を追求していきます。
- 私たちが「沖縄に一番必要とされるフルサービスキャリア」として県内外から選ばれ、愛される航空会社になるための原動力は、全社員一人ひとりが公私ともに生き活きとして日常を送ることと考えます。そしてその活力は、心身の健康の上にごそ成り立つものです。
- 社員およびその家族の健康は、一人ひとりの生活の基盤であるとともに、会社にとってもかけがえのない「財産」と捉え、「全社員の物心両面の幸福」が充たされるよう、社員・会社・健康保険組合が一体となって様々な取り組みを行っています。
- 私たちJTAはこれからも社員の活力を高め、安全・安心で快適な空の旅をお届けして参ります。

### 歩数ランキング

- 社員から会社に毎日の歩数を報告してもらい、それをランキングして社内に周知するという、いたってシンプルなのですが、参加者の中には、男性で毎日平均して2万5千歩、女性で1万歩を記録する者もいます。



## 効果・メリット

### からだちんだみ活動

JALグループ全体の健診レポートを分析した結果、

- JTAを含む沖縄地区の事業所全てで肥満者割合がグループ全体に比べ高いことが判明
  - でも一人当たり医療費が低い
  - 健康リスクがあるにも関わらず、病院に行っていない、と想定しました。
- からだちんだみ活動を通じて、「適正体重維持率」は、2020年度は63.8%、2021年度は65.2%と改善しています。2025年に適正体重維持率80%以上を目指しています。

## プラス1 取組内容

### 毎日の何気ない歩数を応援します！

#### JAL Wellness & Travel

JALのウォーキングアプリ「JAL Wellness & Travel」は、あらかじめ設定した歩数目標を達成するとマイルが付与されるサービスです。毎日の生活の中での歩数が目標となり、自然と歩数が増えることで、県民の皆さまの健康行動を応援していきます。

また、利用が開始すると、歩数目標の達成に応じたマイルの付与に加えて、旅先のチェックインスポットを訪れるとマイルがもらえるなどの特典も受けることができます。





# ～働くこと 学ぶこと 健康なことが 最高の財産～

10  
CASE



有限会社 三崎工業



## Company Profile



住 所：那覇市首里大名町 1-161-1-106  
業 種：建設業  
従業員数：12 人（2023 年 3 月現在）  
HPURL：http://misakikg.jp/



社内で味覚講座を開催



事業所内にフィットネスジムを完備し健康増進に取り組む様子



スタッフみんなでお揃いの T シャツを着て健康行事にも積極的に参加

企業の声

取組事例紹介



## きっかけ

### 健康で明るい笑顔を

設立当初からのスローガン「働くこと 学ぶこと 健康なことが 最高の財産」のもと、事業を持続可能なものにするうえで、重要な経営戦略の一つとして健康づくりに取り組みはじめました。

新しい生活様式を取り入れ、社員には健康で明るい笑顔を持ち続けてほしいと考えています。



健康経営優良法人 2023  
(中小規模法人部門(プライト 500))  
に認定



## 社内での健康経営に関する取組

### 公的制度をフル活用

- ①定期健診の結果や協会けんぽから提供されたデータを参考に、外部専門家（專業保健スタッフなど）で分析してもらい、生活習慣病等の高リスク者に対するの重症化予防や、会社全体のメタボ率、肥満率の改善に努めています。
- ②施策の評価・改善を行っています。目標指標を明確に定め、PDCAサイクルを活用した施策評価のフィードバックを衛生推進委員会で審議し、産業スタッフや健康経営エキスパートアドバイザーなどの専門家からの助言を参考に15項目を継続して改善できるように会社全体で情報を共有し、全員参加型の取り組みをしています。
- ③ストレスチェック制度の導入やメンタルヘルス対策促進員の助言に基づく心の健康づくり計画、専門家による指導で職場環境改善計画を実施することで、メンタルヘルス対策における一次～三次予防対策に取り組んでいます。



## 効果・メリット

### 働きやすい職場の環境づくり

健康経営は、企業と従業員の双方へメリットがあるように感じています。企業のメリットとしては、「生産性向上」「企業イメージアップ」「福利厚生の充実」「リスクマネジメント」「感染予防」、従業員のメリットとしては「ワークエンゲイジメント実感」「プライベートの充実」「モチベーションアップ」があげられます。

## プラス1 取組内容

### 健康長寿県復活を目指して

自社だけの健康増進を行うだけではなく、健康に関する最新情報や知識をいち早くとらえ、ホームページを通じて発信していきます。

現在、健康寿命の延伸を目的とした「おきなわ健康経営プラス1プロジェクト」へ参加しています。地域の大企業や公的機関と連携する活動も積極的に行ってまいります。



沖縄県健康づくり表彰  
がんじゅうさびら表彰受賞  
(平成 30 年度事業所部門)





## ひとに健康を、まちに元気を。

明治安田生命保険  
相互会社 沖縄支社

明治安田生命

## Company Profile

住 所：那覇市久米 2-4-13 5階  
業 種：生命保険業  
従業員数：326名（2023年1月現在）  
HPURL：https://www.meijiyasuda.co.jp/



シークワサー収穫ボランティア



ストレッチ体操



ウォーキング&amp;ゴミ拾い



## きっかけ

## 「みんなの健活プロジェクト」の展開

弊社は2017年から会社と労働組合・健康保険組合が三位一体となり、従業員の健康増進に関する取組みを推進。

2019年度からは「お客さま」「地域社会」「働く仲間（自社従業員）」の健康増進の取組みを継続的に支援する「みんなの健活プロジェクト」を始動し、取組みのフェーズを引き上げました。

「生活習慣病への取組み」「メンタルヘルスへの取組み」「女性の健康への取組み」の3つの柱を軸とした各種施策も実施しています。



## 社内での健康経営に関する取組

## 「ウォーキング」の推進（社内専用アプリの活用）

弊社独自のウォーキングアプリ「明治安田生命健活ウォーキングログ」を開発し、社内で活用。ランキング機能、チーム機能、コレクション機能といったさまざまな機能を搭載して、従業員が楽しく続けられる環境を整備しています。

## 「みんなの健活体操」の実施

独自の体操プログラムを用意し、各所属で毎朝実施しています。Jリーグ開幕中は、Jリーガーが登場する「みんなの健活体操 with Jリーグ」を展開しています。

## 女性の健康増進を図る取組み

2022年から、女性職員が乳がん検診および子宮頸がん検診を受診する際の費用を会社と健保組合が全額負担するキャンペーンを実施しています。その結果、受診率は大幅に上昇しました。併せて、2022年から再開されたHPVワクチンの接種に関する啓発活動を行なっています。



## 効果・メリット

## 地域貢献・社会貢献につながる

一人ではなく、みんなで一緒に取り組むことにより、従業員の一体感が醸成。

外部機関の評価においては、経済産業省等の主催する「健康経営優良法人（大規模法人部門）」のホワイト500認定は7年連続、スポーツ庁の主催する「スポーツエールカンパニー」認定は6年連続、東京都スポーツ推進企業認定は6年連続で認定いただきました。

プラス1  
取組内容

## 健康経営支援サービスの展開


弊社のこれまでの取組みをお客さまや地域社会にお届けすべく、健康経営優良法人の認定取得をサポートするセミナーやサービスを提供。2021年度は4,300社を超える企業の支援を実施しました。



# 職員のセルフヘルスケアを積極的にサポート

12  
CASE



株式会社 琉球銀行  琉球銀行

## Company Profile

住 所：那覇市東町 2 番 1 号  
業 種：金融業  
従業員数：1,349 名（2022 年 3 月末現在）  
HPURL：https://www.ryugin.co.jp/



オンライン健康プログラムの実施



ヘルスキーパー（企業内理療師）



職場内スポーツジム RAISE GYM

企業の声

取組事例紹介



## きっかけ

### 健康への取組みを 一歩前へ

これまでも職員の健康保持・増進に取り組んできましたが、衛生管理や福利厚生向上にとどまらず、経営的視点を持った「健康経営」として、職員の健康に関する取り組みのさらなる発展を図るため、健康経営宣言をしました。

健康経営は、企業からだけでなく、職員からの積極的な取り組みがなければ、実現は困難です。職員自らが健康管理や健康保持に責任を持ち、主体的に取り組む、「セルフ・ヘルスケア」を主軸に各種取り組みを実施しています。



## 社内での健康経営に関する取組

1. 「職場の健康」をサポート（働きやすい環境づくり・両立支援）
  - ・職員間コミュニケーションツールの提供（office365の導入）
  - ・退行時間改善の取り組み、年次有給休暇取得推進
2. 自分を「知る」ことをサポート（ヘルスリテラシー向上）
  - ・各種セミナーの開催・健康情報の発信（ヘルシートーク）
  - ・健康サポートアプリの導入（琉球銀行健康保険組合）
3. 疾病「予防」をサポート
  - ・保健師による健康相談の実施（全職員対象）
  - ・ヘルスキーパー（企業内理療師）によるマッサージ、およびストレッチ等セルフケア指導
4. 「健康づくり」をサポート
  - ・職場内スポーツジムRAISE GYM、体育館、ゴルフルームの利用促進
  - ・敷地内禁煙・就業時間内禁煙の実施
  - ・ウォーキングイベントの開催・ウェアラブルデバイスの貸与



ウェアラブルデバイスの貸与



## 効果・メリット

### 就業時間内禁煙・敷地内禁煙の実施で生産性向上を 実感！

受動喫煙防止施策、禁煙支援の取り組みにより職場の生産性が向上したか、職員アンケートで質問したところ、約2割の職員が生産性が向上したと回答しました。

## プラス1 取組内容

### 受動喫煙防止に関するセミナー等の実施

特に力を入れて取り組んでいる喫煙対策をテーマに、2021年6月オンラインセミナー「あなたの大切な人の健康を考える受動喫煙の防止セミナー」を開催。2023年1月には県看護協会・看護おきなわ健康21委員会主催「禁煙支援者実践報告・研修会」にて職員の禁煙支援について登壇。

今後も職員の健康支援や健康経営の取組みを通して得た情報等を弊行の「プラス1」の取り組みとして、沖縄県内の皆様へ積極的にお伝えいたします！





## 「安心と安全に見える化」 アプリで社員と会社を守る

### 株式会社 琉球ネットワークサービス

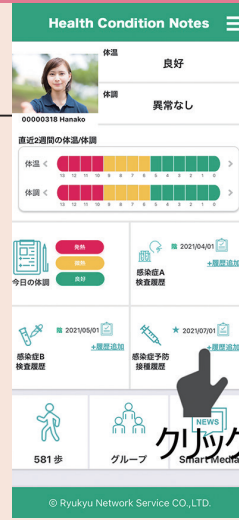


#### Company Profile

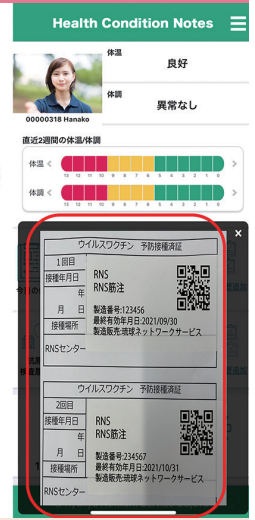
住 所：沖縄県那覇市久米 2-4-16  
大樹生命ビル 8F  
業 種：ソフトウェア受託開発及びシステム開発  
従業員数：183名（2023年1月現在）  
HPURL：<https://www.r-net.co.jp>



直近 2 週間の体温と体調を管理



検査証明の  
表示



ワクチン接種証明も管理可能

企業の声

取組事例紹介



### きっかけ

新型コロナウイルス感染症の発生により、世界は大きく変わってしまいました。

WHOや各国の研究者は「この新型コロナの流行は最後のパンデミック（世界的大流行）ではない」という考えを示しています。もし今回のコロナ感染が終息したとしても、今後も新たなウイルスによるパンデミックが起こるリスクは十分にあり、次に何が人類を脅かすのか予見できません。

当社は、コロナウイルス感染を1日でも早く終息させ、かつ今後の未知なる感染症に備えるためには、各個人が適切な健康管理を行い「安心と安全に見える化」することが重要だと考え、それを実現するためのアプリケーション（Health Condition Notes）を開発しました。



### 社内での健康経営に関する取組

#### 課題

- ①社員が心身共に健康に働けるように安全配慮義務の観点から安心・安全な環境をつくりたい
- ②社員自身で健康管理を記録する習慣や、健康の大切さを知って行動して欲しい
- ③社員が顧客と対面する際に安心してもらいたい

#### 取り組み

自社で健康管理のアプリ開発し、社員がグループ単位での健康管理を行っております。



グループで健康管理



### 効果・メリット

- ①体温・体調の登録がワンタッチと簡易になっている為、毎日の入力(健康管理)が習慣化しました。(直近2週間の体温・体調を表示)
- ②部、チームごとでグループを作成することで、メンバーの健康状態を一覧で確認することができ、管理者の時間負担が小さくなりました。また色で体調が思わしくないメンバーがすぐ分かるので、チャット機能で適切な指示をすることができました。
- ③ワクチン接種証明や抗原検査結果をワンタッチで提示する事ができました。

### プラス1 取組内容

### 健康管理スマホアプリ「Health Condition Notes」の提供

多くの企業や学校では紙やメールで健康観察表を作り、それをチェックする運用が行われている状況です。一人一人チェックするには時間がかかり、毎朝の確認作業は、大きな負担となっています。

本アプリを使用し、各個人が毎日の健康管理を習慣化することで、管理者は短時間で各メンバーの健康を確認することができ、安全配慮義務の観点から安心・安全な環境を作っていくことが可能となります。今後県内外に向けて本アプリの使用を促進していきたいと考えております。



Web 版  
QR コード

# 一人ひとりが ちゃ〜がんじゅう!!



## ANA沖縄空港株式会社 ANA

### Company Profile

住 所：那覇市字鏡水 150 番地（那覇空港内）  
業 種：空運業  
従業員数：1,222 名（2022 年 12 月現在）  
HPURL：http://www.okaap.ana-g.com/



社内に健康管理室を設置。健康管理と健康増進の活動を行っています。



社内運動会では社員とご家族にも参加頂きました♪

**ANA 沖縄空港株式会社**

**空の安全を支えるのは社員の健康！  
幅広い取組みでアプローチしています**

令和4年度がんじゅうさびら表彰 準グランプリを受賞！

企業の声  
取組事例紹介



## きっかけ

### 空の安全を支えるのは社員の健康！

年間を通して多くのお客様をお迎える那覇空港において、幅広い空港業務を支えているのは社員一人ひとりの力です。社員が健康な状態で最高のパフォーマンスを発揮することが空の安全につながっています。

当社では、「社員が自らの心身を大切に、あかるく元気に長く働くことを通じて、地域社会に貢献し続けていく」として健康経営宣言を行い、社員・会社・健康保険組合が一体となって積極的に健康増進に取り組んでいます。



## 社内での健康経営に関する取組

### 細やかな健康管理と多岐にわたる取組みで健康課題へアプローチ！

多くの社員を抱える中で、年代や性別、勤務形態などによって健康課題も様々です。社内に健康管理室を設置し、産業医・保健師による細やかなフォローを行っています。専門の部署を置くことで重点的に健康増進活動に取り組むことができ、いつでも相談できる環境が社員の安心感につながっています。

#### <主な取組み>

職域接種などの感染症対策、全社員対象のWEBウォーキング大会、適正飲酒習慣の定着に向けた飲酒アンバサダーによる適飲(TEKKIN)活動、救命講習、喫煙対策、熱中症や女性の健康など季節や健康課題に応じた啓蒙活動、保健師による新入社員メンタルヘルスフォロー面談 など



## 効果・メリット

### 社員一人ひとりの健康意識の向上

幅広い取組みと社内イントラを活用して積極的に情報配信を継続することで、全体的な健康意識の向上がみられます。

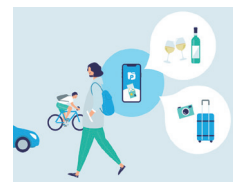
弊社では毎年10月を健康推進月間として全社員にアンケートを実施しており、その結果から、日常的に自身の健康を意識している社員や健康増進アプリの利用率も大幅に増加していることがわかります。今後も様々な角度からアプローチし、健康増進に取り組んでいきます。

## プラス1 取組内容

### 県民の皆様の健康を応援します！

“楽しみながら健康をサポート”  
「ANA Pocket アプリ」の提供  
毎日のちょっとした移動でポイントを貯め、クーポンなどに交換することができます。様々なチャレンジもご用意していますのでぜひ活用ください！

“ご利用いただく皆さまの安心のために”  
ANA独自の新型コロナウイルス感染対策「ANA Care Promise」を実施しています。  
そのほか、県内スポーツイベントへの参加、スポーツ活動の支援、自社ホームページでの情報配信を行い、沖縄県全体の健康増進の活性化を図ります！



# 支援機関情報

支援機関名称	概要
<p><b>内閣府沖縄総合事務局 経済産業部企画振興課</b> TEL : 098-866-1727</p>	<p><b>健康経営優良法人認定制度</b> 特に優良な健康経営を実践している企業等の法人を日本健康会議が顕彰する制度で経済産業省が推進しています。認定されると製品、名刺、広報資料、求人サイトなどに認定マークを使用できるため、企業にとっては採用活動におけるPRとなり、求職者にとってはホワイト企業を見分ける目安となります。</p>
<p><b>沖縄県保健医療部健康長寿課</b> TEL : 098-866-2209</p>	<p><b>沖縄県健康づくり表彰（がんじゅうさびら表彰）</b> 沖縄県内の健康づくり活動や機運を盛り上げるため、職場や地域で積極的に取り組む事業所や団体を表彰します！ <b>受賞した事業所・団体を広報していきます！</b> 新聞、パンフレット、バスラッピング、イベントなど <b>職場の健康力アップ支援事業</b> 職場で健康づくり（肥満予防・改善、適正飲酒対策、生活習慣病予防）を行いたい事業所を支援します！</p>
<p><b>全国健康保健協会 沖縄支部 （協会けんぽ沖縄支部）</b> TEL : 098-951-2246</p>	<p><b>うちなー健康経営宣言</b> 経営トップ自らが健康経営に取り組むメッセージを表明していただき、事業場の取組事項を「見える化」していただきます。</p> <p>宣言後は、健診・保健指導の実施率や、健診結果および生活習慣の経年変化、県内同業態との比較等を掲載した「事業所カルテ」による自社の健康課題を保健師・管理栄養士と一緒に把握し、その健康課題を克服するための支援メニューを提供します。</p>
<p><b>厚生労働省沖縄労働局 （沖縄労働局健康安全課内）</b> TEL : 098-868-4402</p>	<p>宣言後は、沖縄労働局のホームページに宣言事業場名及び宣言内容を掲載させていただき、全県民に向けて周知いたします。</p>
<p><b>沖縄産業保健総合支援センター</b> TEL : 098-859-6175</p>	<p><b>産業保健スタッフ向けサービス</b> 事業場で産業保健活動に携わる産業医、産業看護職、衛生管理者をはじめ、事業主、人事労務担当者などの方々に対して、産業保健研修や専門的な相談への対応などの支援を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①産業保健関係者に対する専門的研修等</li> <li>②産業保健関係者からの専門的相談対応</li> <li>③メンタルヘルス対策の普及促進のための個別訪問支援</li> <li>④治療と仕事の両立支援</li> <li>⑤産業保健に関する情報提供・広報啓発</li> <li>⑥事業主・労働者に対する啓発セミナー</li> </ul>
<p><b>沖縄県地域産業保健センター</b> （従業員50人未満の事業場の事業主・労働者が対象） 【那覇・南部・周辺離島地区】 那覇地域産業保健センター TEL.098-866-8804 【中部地区】 中部地域産業保健センター TEL.098-921-2357 【北部地区】 北部地域産業保健センター TEL.0980-54-5205 【宮古地区】 宮古地域産業保健センター TEL.0980-73-0222 【八重山地区】 八重山地域産業保健センター TEL.0980-88-5633</p>	<p><b>小規模事業場向けサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①健診結果の意見聴取 健診で検査項目に異常所見のあった労働者の就業の可否などについて医師に意見を聴きます。※事業主の義務です！</li> <li>②健康管理の相談 医師・保健師が日常生活面の指導や健康管理に関する情報提供や相談に応じます。</li> <li>③長時間労働者への面接 時間外労働が長時間に及ぶ労働者に対し、医師が面接指導を行います。</li> <li>④高ストレス者への面接 ストレスチェックの結果、高ストレスであるとされた労働者に医師が面接指導を行います。</li> <li>⑤産業保健指導・職場巡視 医師・保健師など専門家が事業所を訪問し、総合的な助言指導を行います。</li> </ul>

## 健康経営関連の情報はこちらから

経済産業省では、専用HPや冊子にて健康経営についての情報や企業の取組事例などを紹介しています。

是非御覧いただき、健康経営の取組の参考にいただければ幸いです。



HP

健康経営優良法人認定事務局  
ポータルサイト



《 ACTION! 健康経営

健康経営に関するインタビュー記事やセミナー情報、自治体や金融機関が提供するインセンティブ措置の紹介など、各種コンテンツが盛りだくさんとなっております。

BOOK



健康経営銘柄 2022  
選定企業紹介レポート



健康経営優良法人 2022  
(中小規模法人部門)  
認定法人 取り組み事例集





**おきなわ健康経営**  
プラス1プロジェクト

## 本冊子のお問合せは…

---

おきなわ健康経営プラス1プロジェクト事務局

(内閣府沖縄総合事務局経済産業部企画振興課 健康経営担当)

TEL : 098-866-1727

Mail : [bzl-healthcare-okinawa@meti.go.jp](mailto:bzl-healthcare-okinawa@meti.go.jp)